

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
仙北市	子ども演劇体験講座	○ 回を重ねるごとに、子どもたち同士だけでなく、講師や職員へも積極的に話しかけるなど、コミュニケーション能力の向上が見られた。	・わらび座劇団 ・小・中学校教職員
生涯学習課	夏休みの4日間、市内の小・中学生を対象に、演劇体験講座を実施する。演劇を通じて、子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を図る。仲間と一緒に劇を作り上げる達成感を体験させることを目的とする。	● 上演中の作品のセットを使ったり、役者から直接学んだりしているため、受講者の満足度はとても高い。しかし、その魅力を周知の段階で十分に伝え切れていない。	
仙北市	公民大学の学習支援・交流活動	○ 学ぶ機会の少ない陶芸や園芸を地域の方々（公民大学講師・生徒）が学習支援をすることで、興味や関心をもってもらうことができ、世代間交流にもつながっている。	・せんぼく校職員 ・公民大学書道学科 ・公民大学園芸学科 ・公民大学陶芸学科
角館公民館	仙北市公民大学の生徒や講師が大曲支援学校せんぼく校のゲストティーチャーとして、学習支援や地域との連携に取り組んでいる。	● 児童生徒が学んだ成果を生かす場がなく、公民館などの公共施設に作品や活動内容を展示できるスペースを検討したい。	
仙北市	生保内節盆踊り大会	○ 地域の伝統文化に触れることで世代間の交流が図られるとともに、郷土文化も継承されている。	・地域の企業（16社） JR田沢湖駅、商店 銀行、郵便局 他 ・認定こども園 ・小学校教職員 ・地域ボランティア
田沢湖公民館	田沢湖地域発祥の「生保内節」を毎年8月「盆踊り大会」として開催している。今年度で49回目を迎える。 生保内小学校と協力して盆踊りへの参加や芸能アトラクション、保護者と共に屋台を出店するなど、大会を盛り上げている。	● 少子高齢化、世代間による伝統行事への関心の低下により、年々参加者が減少している。	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
美郷町	わくわくスクール	○ 体験活動や学習を通して、子どもたちの健やかな成長や自主性、創造性、協調性が育まれた。保護者間のつながり構築に寄与した。	・ 地域ボランティア ・ 家庭教育支援チーム
美郷町公民館	町内の小学生を対象に、長期休業期間中に子どもたちの体験活動と居場所づくりを兼ねて開催している。地元で活躍されている方や有資格者を講師に招き、地域学校協働本部と家庭教育支援チーム（町生涯学習奨励員協議会）の協力を得ながら実施している。	● 小学校高学年はスポ少活動などで多忙のため、参加率が低い。	
横手市	家庭教育支援事業	○ 保護者同士が情報交換することで、悩みや不安が軽減された。学校や行政機関以外の相談の選択肢が増えた。父親同士が子育てについて考え、交流を深める場を創出することができた。	・ 横手市家庭教育支援チーム ・ 横手市PTA連合会 ・ 公民館職員 ・ パパサークル
生涯学習課	元保育士やスクールソーシャルワーカーなど多彩な地域人材で構成する横手市家庭教育支援チームが子育て中の保護者の学びや育ちを応援する交流会を今年度は3回開催した。授業参観や就学時健診、市PTA連合会研修会などでの周知活動も行い、悩みを抱える保護者からのメールや電話での相談にも対応している。 父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力の向上を目的に、父親と子どもを対象とした体験講座を「パパ'sサークルピーターパン」に協力をいただきながら年2回開催。「お父さんと挑戦！段ボールでおうちづくり」は特に人気で、20組40名の定員に対し、50組100名の応募があった。	● 多くの保護者に活動を知っていただくためのPR方法。	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
横手市	横手市わくわく子ども教室	○ 教室スタッフとして地域住民約80名の協力のもと、自学のサポートと多様な体験活動が実施できている。核家族が増える中、あらゆる年代や立場の方と触れ合える場になっている。	・生涯学習サークル ・教員OB ・公民館職員 ・ジュニアリーダー ・高校生ボランティア ・地元企業及び事業所
生涯学習課	長期休業中の子どもたちに地域住民の参画による様々な体験活動の機会を提供している。 今年度は夏休み中は10日間、冬休み中は5日間、公民館などに16教室を開設。活動時間は午前9時から正午までで、前半が自主学习、後半が体験活動。体験内容は、地域巡りや理科実験、茶道、昔語り、ヒップホップなどと多彩。	● 小学1～6年生と幅広い募集に加え、サポートが必要な児童もあり、体験活動内容によっては、目が届きにくいこともある。指導者の資質向上とボランティアの確保など運営体制の一層の改善を目指す。	
湯沢市	新春書き初め大会	○ 新年らしい恒例行事として定着し、学校以外での学習活動の発表の場となっている。よき伝統文化の継承も担っている。	・地域の書道指導者 ・各学校長及び担当教職員 ・生涯学習センター職員
稲川生涯学習センター	小・中学生を対象に新年を迎えた気持ちを日本の伝統文化である「書」で表すことで、子どもたちの心を育み、参加者の交流を図ることを目的に実施している。 半紙の部と条幅の部で最優秀賞、優秀賞、優良賞を審査し、賞状を授与する。作品は審査後に展示、公開する。皆瀬生涯学習センターとの共催事業である。	● 児童生徒の減少に伴う参加者の減少や冬期間のため会場までの送迎と会場の駐車スペースが課題である。	
湯沢市	湯沢市・平内町交流事業 「山の子・海の子 なぎさの教室」	○ 1泊2日の限られた時間であったが、学年や男女関係なく楽しく交流することができた。	・NPO法人こまちハート・オブ・ゴールド （地域総合型スポーツクラブ） ・院内ふるさと学校 ・院内未来塾 ・地域おこし協力隊 ・大学生ボランティア ・生涯学習センター職員
雄勝生涯学習センター	今年度は平内町が会場となり、雄勝小学校からは5・6年生の希望者30名、平内町からは20名が参加した。 1泊2日の児童交流プログラムを実施した。 ・地引き網体験 ・山本護太郎博士記念碑見学 ・磯遊び ・バーベキュー ・花火大会 ・浅虫水族館見学 など	● バスでの移動時間が、休憩を挟み4時間50分と長い。バスの関係上、参加者に制限がある。 （今回39名の参加申込あり）	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
羽後町	住民運動会（住民体育大会）	○ 地域住民と小学生が触れ合うことのできる数少ない機会となっている。地区内の住民との交流の場となっており、地域とのつながり、住民同士の交流が深まった。	・ 各町内会 ・ 公民館職員
各地区公民館	8月18日に1地区、24日に7地区の住民運動会を実行委員会形式で実施した。幼児から高齢者まで参加し、地域内の交流が盛んに行われた。小学生はそれぞれの出身地域の運動会に参加し、一緒に地域住民との交流を楽しんだ。	● 悪天候のため、2地区での運動会が中止となった。地域の参加者が年々減少しており、今後の在り方や内容などを検討する必要がある。	
羽後町	スケート教室（移動公民館）	○ 親子の触れ合い、異学年交流や保護者同士の交流も深まった。	・ 公民館職員
田代公民館 仙道公民館	1月8日に町の公民館バスなどを利用し、秋田県営スケート場にてスケート体験を行った。高瀬小学校の児童とその保護者が参加対象となるため、新たなつながりは少ないが、異学年交流や親子の触れ合いが深まった。	● バスを利用した移動教室のため、参加者数の制限と時間の制約がある。家庭教育や社会教育としての学びの時間が少ない。	